卑弥呼の鏡

Himiko and Her Mirrors
The Making of a Kingdom

三角縁神獣鏡が
ヤマト王権をつくった



九州国立博物館
太宰府天満宮横

撮影OK!
※一部をのぞく

2026（令和8年）10／31（土）
▶
2027（令和9年）1／11（月・祝）

会　場／九州国立博物館 3階 特別展示室
開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※特別展開催中の土曜日は午後7時まで（入館は午後6時30分まで）
休 館 日／月曜日（ただし1／12［月・祝］は開館）、1／13［火］
観 覧 料／一般2000円、大学生1200円、高校生以下・18歳未満無料

主催＝九州国立博物館、福岡県、NHK福岡放送局、日本経済新聞社
共催＝（公財）九州国立博物館振興財団
協賛＝西日本鉄道、九州旅客鉄道
特別協力＝太宰府天満宮、新泉社
後援＝佐賀新聞社

九州国立博物館
公式SNS

本展
公式HP

［重要文化財］三角縁神獣鏡
山口県竹島御家老屋敷古墳出土　古墳時代　3～4世紀　九州国立博物館蔵
※イラストはイメージです。

卑弥呼の鏡

Himiko and Her Mirrors
The Making of a Kingdom



開催概要

- 会場　九州国立博物館 特別展示室
- 会期　2026年10月31日(土)～2027年1月11日(月・祝)

  ※12月24日～31日は年末休館
- 主催　九州国立博物館・福岡県、NHK福岡放送局、日本経済新聞社
- 共催　(公財)九州国立博物館振興財団
- 協賛　西日本鉄道、JR九州
- 特別協力　太宰府天満宮、新泉社
- 後援　佐賀新聞社





展覧会の趣旨



いまから約1800年ほど前、弥生時代末頃にあたる西暦239年のこと。倭の女王・卑弥呼は、中国・魏に使いを送り、皇帝から銅鏡百枚を賜りました。

これが、「卑弥呼の鏡」。

この中には、各地の古墳から出土する銅鏡「三角縁神獣鏡」が含まれていた、と考えられます。

卑弥呼、そしてそれに続くヤマト王権は、この鏡を各地の王に配り、自らの権威を高めました。

本展では、最新の研究成果より、卑弥呼の鏡、そしてヤマト王権の誕生のひみつをさぐります。







展覧会の章構成



第1章　倭人と鏡のなれそめ

第2章　ヤマト王権の登場

第3章　三角縁神獣鏡をさぐる

第4章　三角縁神獣鏡はかたる

第5章　ヤマト王権と鏡　その後







第１章　倭人と鏡のなれそめ

紀元前2000年頃、中国で、青銅、つまり銅とスズの合金を溶かして、鋳型に流し込んで作った鏡が登場します。

太陽の光を鏡面に宿すその神秘性からでしょうか、鏡背面には、神話や理想の世界が、複雑な文様で表現されました。

三角縁神獣鏡は、後漢～三国時代に流行した「神仙思想」にもとづき、神や仙人、霊獣を鏡背面に描き出す鏡です。

縁の断面が三角形なので「三角縁」、神や仙人、霊獣をあらわすので「神獣」の名をとって、「三角縁神獣鏡」と名付けられました。



縁の断面が三角形

三角縁神獣鏡3Dモデル（原鏡：福岡県卯内尺古墳出土）九州国立博物館蔵



第１章　倭人と鏡のなれそめ

紀元前108年、朝鮮半島に「楽浪郡」が成立すると、弥生社会に漢王朝の文化が流れ込みます。その中に、中国製の銅鏡がありました。倭人と中国鏡の出会いです。

北部九州の有力者は、そのきらめく輝きを独占し、墓におさめました。30面、40面といった大量の鏡が、有力者の墓に副葬されたのです。

ここに、**持つ者と持たざる者の格差**が、はっきりとあらわれたのです。

そして、この格差が、集団どうしの競争を引き起こすことになりました。「**倭国乱**」もその一つ、と考えられます。



国宝　福岡県平原1号墓出土の40面の銅鏡（福岡県伊都国歴史博物館提供）



第２章　ヤマト王権の登場

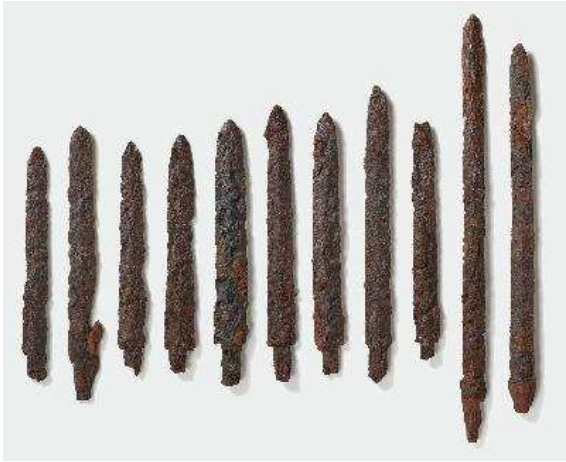
弥生時代後期、西日本全域ではじまった集団間の競争を勝ち抜いて、各地で、有力な集団とその統率者「王」があらわれていきました。

王たちは、各地からそれぞれの葬送儀礼を持ち寄って、ひとつの中心的な勢力（**ヤマト王権**）のもとで、共通した葬送儀礼を作り上げていきました。

そして、ヤマト王権は、巨大な塚（前方後円墳）に王を葬る、新たな葬送儀礼をつくりだしました。その中に、**三角縁神獣鏡の副葬**も含まれていました。ここに、三角縁神獣鏡が大量に必要とされたひみつがありました。



鍬形石（伝岐阜県各務原出土）
九州国立博物館蔵



重文　鉄剣（京都府大風呂南墳墓群出土）
京都・与謝野町教育委員会蔵



特殊壺（上）・特殊器台（下）（岡山県中山遺跡出土）
岡山・真庭市教育委員会蔵



第３章　三角縁神獣鏡をさぐる

ヤマト王権によって、副葬品として採用された三角縁神獣鏡ですが、この鏡の誕生の秘密をさぐっていきましょう。

大きな手掛かりが「**紀年銘鏡**」です。

初期の三角縁神獣鏡のなかには、中国・**魏**の「**景初3年(239)**」、「**正始元年(240)**」の銘文を持つものがあります。これは、魏志倭人伝に記録された、**女王卑弥呼の魏への遣使(239年)と、魏からの返使(240年)の年と合致**します。



重文 正始元年銘三角縁神獣鏡(群馬県蟹沢古墳出土)東京国立博物館蔵



重文 正始元年銘三角縁神獣鏡(山口県竹島御家老屋敷古墳出土)九州国立博物館蔵
(鏡背面全体画像)　(部分拡大に加筆)　(X線CTスキャン画像)



第３章　三角縁神獣鏡をさぐる

近年、三次元計測などの最新の研究手法により、三角縁神獣鏡の誕生に迫る研究成果が提供されてきています。

三角縁神獣鏡の大きさは、ほぼすべてが直径22センチ前後にそろいます。

また、三角縁神獣鏡は、鋳型を再利用するなどして、同じ文様の鏡をたくさん作ります。

これらのことから、三角縁神獣鏡が生まれた背景には、同じ大きさの鏡が、急ぎでたくさん必要になった、という状況があったと想定されます。

そしてその時期は、卑弥呼が魏へと使いを送った時期。

三角縁神獣鏡が、卑弥呼に下賜するために特別に鋳造された鏡である、という説を、「特鋳鏡説」とよびます。

卑弥呼以後も、三角縁神獣鏡は作られ、日本列島に送られた、とみられます。こうして、600面もの三角縁神獣鏡が出土することになりました。



第３章　三角縁神獣鏡をさぐる

魏の年号があるということは、この鏡が中国、魏で、3世紀中ごろに創出されたことを示す証拠として重要ですが、他にもこの鏡が中国で作られたことを示す証拠を、いくつか展覧会のなかでご紹介します。

たとえば、神仙思想にかかわるさまざまなモチーフを見てみましょう。

三角縁神獣鏡には、神仙や霊獣のほかに、海のかなたの理想郷、**蓬莱山**や、仙人が住むとされる崑崙（こんろん）山を模した香炉「**博山炉**」などが描かれています。

神仙が住む伝説の山(蓬莱山)



重文 三角縁神獣鏡（奈良県佐味田宝塚古墳出土）奈良国立博物館蔵

左：博山炉(神仙思想における神聖な山を模した香炉)
右：博山炉をモチーフとした三角縁神獣鏡の文様



青磁博山炉（中国）九州国立博物館蔵



三角縁神獣鏡（伝奈良県渋谷出土）京都国立博物館蔵



第３章　三角縁神獣鏡をさぐる

古墳時代中期になって日本列島に持ち込まれたはずの馬3頭に曳かれる馬車。いずれも、古墳時代前期の倭人たちが見ることもできなかったモチーフです。

日本での仏教公伝は6世紀中ごろのことですが、それよりも300年近く前に三角縁神獣鏡に仏像が鋳出され、日本に持ち込まれていました。

こうしたさまざまなモチーフは、中国で当時流行していた思想などから採用されました。日本列島の人びとには入手しえない情報で、この鏡が中国で作られたことをはっきり示します。

三頭曳きの馬車



重文 三角縁神獣鏡（奈良県佐味田宝塚古墳出土）奈良国立博物館蔵

仏立像（左）と仏座像（右）



三角縁神獣鏡（群馬県赤城塚古墳出土）群馬・西丘神社蔵（板倉町教育委員会保管）



第４章　三角縁神獣鏡はかたる

三角縁神獣鏡は、同じ文様の鏡がたくさん作られたため、同じ時期に鏡を入手した王たちの間で、同じ文様の鏡が共有されることになりました。

例えば、福岡県石塚山古墳の鏡は、同じ文様の鏡が京都の椿井大塚山古墳、奈良の黒塚古墳などからも出土しており、おそらく同じ時代に各地をおさめた王たちだったと思われます。



重文 三角縁神獣鏡（福岡県石塚山古墳出土）福岡・宇原神社蔵



重文 三角縁神獣鏡（福岡県石塚山古墳出土）福岡・宇原神社蔵



三角縁神獣鏡（福岡県天神森古墳出土）福岡市博物館蔵



重文 三角縁神獣鏡（大分県赤塚古墳出土）京都国立博物館蔵



第４章　三角縁神獣鏡はかたる

また、三角縁神獣鏡は、ヤマト王権が各地に権力を伸ばすために、各地の王に配られたと考えられます。ヤマト王権は、魏との交流を維持するため、近畿から北部九州へとつなぐ交易の道を、三角縁神獣鏡を配ることで、作り上げました。





第４章　三角縁神獣鏡はかたる

このころ博多湾の沿岸にあった「西新町遺跡」は、交易の港町。朝鮮半島からやってきた人々が多く住んでいました。また西日本の各地からも、多くの人たちが訪れました。その痕跡を、各地の特徴があらわれた土器からたどります。

朝鮮半島の特徴を持つ土器



半島系土器（福岡県西新町遺跡出土）九州歴史資料館蔵

山陰地方の特徴を持つ土器



山陰系土器（福岡県西新町遺跡出土）九州歴史資料館蔵

近畿地方の特徴を持つ土器



畿内系土器（福岡県西新町遺跡出土）九州歴史資料館蔵

いずれも重文「西新町遺跡出土品（一括）

西新町遺跡の隣にある藤崎遺跡では、三角縁神獣鏡が副葬された墓も見つかっています。この港町がヤマト王権からいかに手厚く扱われていたかがわかります。



第５章　ヤマト王権と鏡
その後

4世紀後半、三角縁神獣鏡が入手できなくなると、
ヤマト王権は
① 武器や馬具など、あらたな権威の象徴を創り出す
② 新たな鏡を中国・南朝の宋に求める
という形で、地方の王たちとの関係を維持しようとします。



国宝 南朝・宋からもたらされた鏡

浮彫式獣帯鏡（群馬県綿貫観音山古墳出土）
国（文化庁）蔵、群馬県立歴史博物館保管

鏡に代わって権威の象徴となった武具



重文 金銅立飾付眉庇付冑・頭甲・横矧ぎ板鋲留短甲（行橋市稲童21号墳出土）
行橋市教育委員会蔵（行橋市歴史民俗資料館保管）



頭椎大刀　伝群馬県西平井出土　九州国立博物館蔵



第５章　ヤマト王権と鏡
その後

　また、鏡を墓におさめる以外の使いかたをしていることを示す資料がみられるようになります。鏡に、「副葬品として以外の用途」が与えられたことを示すのかもしれません。

壁に鏡を描いた建物の埴輪



家形埴輪・囲形埴輪（上官塚遺跡出土）
熊本・鹿島町教育委員会蔵



腰に鈴鏡をつけた
巫女の埴輪

重文　埴輪　腰かける巫女（群馬県古海出土）東京国立博物館蔵

その他のアピールポイント



空前の規模の鏡の展覧会

三角縁神獣鏡53面、そのほかの鏡50面。
貴重な紀年銘鏡も6面　**合計103面の鏡が大集合**
※再現鏡3面を除く

指定品もたくさん

総出陳件数230件、うち国宝8件、
重文108件、地方指定17件

最新の研究成果も

本展を見れば三角縁神獣鏡研究の現段階の到達点がわかります。
2025年に**奈良県富雄丸山古墳**から出土した三角縁神獣鏡も展示！



三角縁神獣鏡（奈良県富雄丸山古墳出土）奈良市埋蔵文化財調査センター蔵



本展の図録にもぜひ注目！！



・図録は、新泉社より、一般書籍として刊行！　書店にも並びます。

・充実の論考編。

「三角縁神獣鏡の系譜と製作地」 福永伸哉（大阪大学特任教授）
「三角縁神獣鏡の分類―編年と製作系譜―」 岩本　崇（島根大学准教授）
「三角縁神獣鏡の実年代をめぐる諸問題」 辻田淳一郎（九州大学教授）
「製作技法と製作注文内容からみた三角縁神獣鏡」 水野敏典（奈良県立橿原考古学研究所副主任）
「三角縁神獣鏡の流通論―研究史と周防灘の海上交通―」 河野正訓（東京国立博物館主任研究員）
「三角縁神獣鏡と威信財論」 辻田淳一郎（九州大学教授）
「仲達の窓はだれがなぜ閉じたか―三国志魏書東夷伝の史料的制約―」 白井克也（九州国立博物館学芸部長）

・三角縁神獣鏡目録、出土地名表が付属。2026年現在の最新の、三角縁神獣鏡の一覧です。

※B5正判、約270頁、税込価格3,300円（予定）

おまけ　Q&A 三角縁神獣鏡って「卑弥呼の鏡」？



Q:魏志倭人伝に記載されている、卑弥呼が魏の皇帝より下賜された鏡って、100面では？（三角縁神獣鏡は600面以上知られる）



A:卑弥呼は247年にも遣使しました。また、卑弥呼のあとで王に共立された台与も266年に遣使しました。おそらく、卑弥呼以後、数度にわたり魏への遣使があり、そのたびに三角縁神獣鏡を入手したと考えられます。



Q:魏志倭人伝に記される「銅鏡百枚」はぜんぶ三角縁神獣鏡？



A:この時期前後の紀年銘鏡がいくつか知られており、その中には斜縁神獣鏡や方格規矩鏡などほかの形式の鏡も含まれます。おそらく、最初の「銅鏡百枚」にはほかの形式も含まれており、2回目以降は倭のリクエストにより三角縁神獣鏡が大量に下賜されたものと考えられます。



Q:魏の官営工房は約1年で100枚の鏡をつくったの？



A:三角縁神獣鏡の文様モチーフはモデルをきちんと踏襲しておらず、銘文もほかの鏡と比べて意味が通りにくいものが多い、と言われます。多量の鏡を短期間で作るため民間工房の技術者にも協力させたために、銘文や文様がさまざまに変化した可能性が指摘されています。



Q:三角縁神獣鏡って、ぜんぶ中国製なの？



A:三角縁神獣鏡という鏡式が創出されたのは中国・三国時代（魏）であることは、専門家の間ではほぼ異論がない状況です。しかし、一部の（新しく位置づけられる）三角縁神獣鏡（従来より「仿製鏡」と呼ばれてきたもの）については、研究者の間でも中国産、日本列島産などいろいろ議論があり、結論は出ていない状況です。